



図書出版

文学通信

Bungaku-Report.com

日本語・日本文学の研究書を中心に、
人文学書全般を刊行する出版社

〒〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-35-6-201

電話 03-5939-9027 FAX03-5939-9094

2020.03.21 送信

新刊
案内

江戸のテキストから古典を考え直し、「国文学」を批判的に考察する

江戸の「開かれたテキスト」が
普遍へと通じる可能性と
「国文学」なる学の
問題について考える

優れた文学テキストは、作者の意図や同時代の共通理解をはみ出してしまふことで、ある種の普遍性に到達するのではないか。今日私たちが「古典」とするものの多くは、書籍の公刊が可能とした知識の共有に因るところが大きいが、本書は、日本近世期における文学受容の在り方として特徴的な、そういった公刊された作品を対象とし、特定の時代背景や限定的な人間関係だけに還元されることのない読みを通じて、「古典」が「開かれたテキスト」であることの意義について考える。

空井伸一

Utsui Shinichi 愛知大学文学部教授

江戸のテキストから
古典を考え直す

批判的 考察

国文学の

文学
コーナーで
お願いします!

ISBN978-4-909658-27-2
A5判・上製・472頁

定価:本体 11,500円(税別)

【目次】
はじめに
序 江戸のテキストを読むということ

第一部 秋成を読む

第1章 「白雀」に見る「和」「隣生即忘」を懐く西行

第2章 連帯する「孤独」「菊花の約」の「友」

第3章 「浅茅が宿」の「烈婦」「玉」として輝ける宮本

第4章 「夢庵の鯉魚」の「遊戯」「鮮」を厭う興業

第5章 「芥子」の考察「愛」から「秘性の結」へ「仏法僧」に及ぶ

第6章 日本古典文学に見る死体描写の系譜

「青眼巾」「青蓮の巻」を中心として

第7章 「青蓮巾」の悟り「如來蔵」として「本源の心」

第8章 「黄金」の語る貨幣「無常論」という「閑談」

第9章 「諸道馳耳世間狂」試論「之巻回」三巻「回を中心に」

第二部 西鶴を読む

第1章 決定不可能性としての「不思議」

「西鶴物語」はなし「巻二」目せぬとら女大「考」

第2章 境界上の独身者「西鶴物語」はなし「巻四」七「離のちらし」考

第3章 策彦の涙「西鶴物語」はなし「巻三」六「八世の運の塵」考

第4章 左の腕を断つ話「西鶴物語」はなし「巻六」二「表向きは夫婦の中垣」考

第三部 源内を読む

第1章 宙吊りの地獄「源内志道」の世界

第2章 都市神話としての可能性「源内志道」の「根」についての考察

第3章 『風流志道野伝』を読む「空」と降り合う貨幣の物語として

第4章 左の腕を断つ話「源内志道野伝」の異空間「江戸への憧憬」

第5章 平賀源内と秋田鉱山開発

第四部 「国文学」の批判的考察

第1章 批判の学としての「国文学」

第2章 「無常」と「美」の日本的連関についての批判的考察

「方丈記」と「後醍醐」・「雨月物語」「浅茅が宿」を通じて

おわりに 初出一覧 索引(書名・人名)

【新刊申込締切】 2020年03月30日(月) ※注文扱(返条付・岡田了解)にて搬入いたします。フリーで返品受けます。

【取次搬入予定】 2020年04月03日(金) 逆送されたら、八木書店(文学通信・岡田)了解とお書き下さい。ご面倒をおかけいたします。

【ご注文について】
実際に手にとって見てみたいといった場合など、1冊でも構いません。遠慮なくご注文ください。
また、本書についての問い合わせも歓迎です。 営業部・岡田 [電話 03-5939-9027]

【注文書】 FAX 03-5939-9094 メールでも承ります ●info@bungaku-report.com
問い合わせはお電話で ●03-5939-9027

取引取次●八木書店。八木書店を経由して、トーハン・日販・大阪屋栗田・日教販・中央社等へ搬入いたします。

●番線印	●冊数	<p>新刊 文学通信</p> <p>空井伸一 Utsui Shinichi 愛知大学文学部教授</p> <p>「国文学」の批判的考察</p> <p>冊 ISBN978-4-909658-27-2 定価:本体 11,500円(税別)</p>	<p>◎ご担当者</p> <p>◎電話番号</p>
------	-----	---	---------------------------

ご案内が不要なときはお手数ですが、03-5939-9094まで返信願います。以後のご案内を停止します。